

【注意事項】**統合開発環境 CS+****概要**

統合開発環境 CS+の使用上の注意事項を連絡します。

1. V850 コンパイラ (CA850) のプログラマブル I/O 領域開始アドレスを設定するプロパティに関する注意事項

1. V850 コンパイラ (CA850) のプログラマブル I/O 領域開始アドレスを設定するプロパティに関する注意事項**1.1 該当製品**

- CubeSuite V1.20 ~ V1.40
- CubeSuite+ V1.00.00 ~ CS+ for CA,CX V3.03.00

1.2 該当 MCU

V850 ファミリ

1.3 内容

CA850 ビルド・ツールの以下のプロパティにおいて、対象デバイスのプログラマブル I/O 領域の先頭アドレスを指定できません。指定した場合、「プロパティの値が無効です。」というダイアログが表示されます。

プロパティ：[共通オプション]タブ → [デバイス]カテゴリ → [プログラマブル I/O 領域開始アドレス]
なお、本プロパティは、プログラマブル I/O 機能を持たないデバイスの場合は表示されません。

1.4 回避策

以下のプロパティで、CA850 のオプションを直接指定してください。

- (a) C ソース・ファイル上でプログラマブル I/O にアクセスしている場合

プロパティ：[コンパイル・オプション]タブ → [その他]カテゴリ → [その他の追加オプション]
コンパイル・オプション：“-Xbpc=num” を指定

- (b) アセンブラ・ファイル上でプログラマブル I/O にアクセスしている場合

プロパティ：[アセンブル・オプション]タブ → [その他]カテゴリ → [その他の追加オプション]
アセンブル・オプション：“-bpc=num” を指定

各オプションの指定形式^(注)については、以下のユーザズマニュアルをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=r20ut0557>

CubeSuite+ V1.00.00 統合開発環境 ユーザズマニュアル V850 ビルド編
付録 B コマンド・リファレンス

注：オプションの指定形式は、CubeSuite、CubeSuite+、CS+で同一です。

1.5 恒久対策

次期バージョンで改修予定です。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2016.11.01	-	新規発行

ルネサスエレクトロニクス株式会社

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

■総合お問い合わせ先

<http://japan.renesas.com/contact/>

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。